心に残る文化財子ども塾　活動の概要と様子
～出雲市立多伎中学校～

1. 概　要

10月8日(木)、出雲市立多伎中学校の1年生を対象に「心に残る文化財子ども塾」を行いました。テーマは「多伎町内の遺跡、文化財、歴史文化を学ぶ」です。

まずは、埋蔵文化財と考古学、島根県の歴史や遺跡について説明しました。聞きなれない言葉が多かったでしょうが、皆さん真剣に耳を傾けてくれました。同じ出雲市の「荒神谷遺跡」で、弥生時代の銅剣が358本も出土したという話には特に驚いたようです。

続いて、多伎町内の遺跡・遺物について紹介しました。ふるさとの身近な場所にもたくさんの遺跡があると知ってびっくり！県内出土の土器や石器にも触れて、昔の生活・技術の片鱗を実感してもらいました。

次は校外に出て遺跡見学です。最初は、道の駅キララ多伎近くの砂原遺跡へ。今は何もない斜面ですが、実は日本最古の可能性がある石器(旧石器時代)が発見された場所です。ぜひ多伎中の誰かが研究して、日本列島での人類登場の謎を解いてください！

続いては砂原小山横穴墓です。小道を歩いていくと岩肌斜面にぽっかり空いた穴を発見。希望者が横穴墓の中を覗いてみると、「意外と広い！」「どうやって作ったの？」など、意見が飛び交いました。心に残る、貴重な体験になったと思います。

2. 学習の様子



実は多伎町にも遺跡がたくさん！



本物の土器や石器に触ってみよう



こんなに身近な場所にも遺跡が！



横穴墓に潜入＆調査！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

（心に残ったこと）

・多伎町にも遺跡があるのがびっくりしました。

・砂原遺跡が日本最古のいせきになるかもということ。

・横穴墓に入らせてもらえることなんてめったになかったのですごくいい体験になりました。

・横穴墓の中が広く、ドーム状でびっくりしたこと。

・多伎にいせきがあった場所にじっさいいってみたこと。

・自分の住んでいるところにこんなにもたくさんの文化財があるなんて思ってもいなかったので知れてよかった。

・昔のつぼやたかつき、かめを見たり、ふれたりしたこと。

（もっと知りたいことや他に体験してみたいこと）

・横穴墓と砂原遺跡のくわしい構造を知りたいです。

・出雲国風土記について知りたいと思った。

・島根県の遺跡などをもっと知りたいと思いました。

・古墳を実際に見てみたい。

・まだ知らない多伎町の遺跡に行ってみたい。

・島根にもたくさんの歴史や遺跡があるから、資料館などに行ってもっとくわしく知りたい。

2)先生から

・出土品を直接生徒が持つことができてよかった。

・近くの遺跡へ案内してもらい、生徒たちも新たに知ることができてよかった。

・パワーポイントのスライドはすべて良いもので、欲しいくらいでした。

・学校周辺の遺跡や出土品について学び、地域への愛着が深まったように思う。

・写真や実際の出土品をもってきていただき、子どもたちが興味を持って聞いていたように思います。

3)埋文センターから…

今回の活動で、ふるさとの歴史に少し詳しくなれたと思います。みなさんが暮らしている多伎町、島根県、そして日本には、まだまだ素晴らしい文化財がたくさんあります。ぜひ、今日の思い出を大切にして、文化財に興味を持って、守り受け継いでいってください。そして、「過去から学んで未来に活かす」ことを目標に、これからの歴史の学習を楽しんでください！